

～特別講演を開催しました～

令和3年12月2日、人事課佐野友妃子さんにアフリカ、ケニアでの活動についてご講義いただきました。

3学年が対面・オンラインで聴講しました。一部学生の感想をご紹介します。



1年生Aさん

世界の現状について、SDGsなども含めて知ることができました。また国際活動として現地で色々なことを指導しているというイメージがあったのですが、その土地の文化や習慣を無視しないよう、指導の方法や距離感を大切にしているということを知ることができました。

今まで看護師としての国際活動の役割について学んできましたが、看護だけではなく、海外の赤十字社の能力や保健システムなどを改善・強化させることによって、地域住民の命を守っていることを学ぶことが出来ました。また、日本だけではなく様々な国や地域から人が集まり、チームで考え行動していることも改めて知り、チーム活動や連携の大切さを感じました。文化的要因に対して介入していかなければならない際に、私には異文化への知識、理解が不足しているので、その点に関しても、より学びを深めていこうと考えました。



2年生Bさん



3年生Cさん

3年間の授業や学習を通して開発途上国の実際についてある程度知っていましたが、改めて三年生になり看護の視点も踏まえながら考え直すことが出来ました。看護師として出来ることは何なのか考え、日本の医療だけでなく世界の医療や看護、健康問題などにもっと関心を持たなければならぬと考えさせられる講演でした。ありがとうございました。

赤十字職員はあくまでもサポーター的な役割として現地住民や現地の赤十字職員が主体となれるように支援することが大切だと学んだ。最後に住民との温かい関わりを幸せそうに話しておられる佐野先生の姿から、たとえ文化や言語が大きく違っててもひとりの人間として互いを尊重し合うことで、つながりや絆が生まれるのだと感じた。



3年生Dさん